

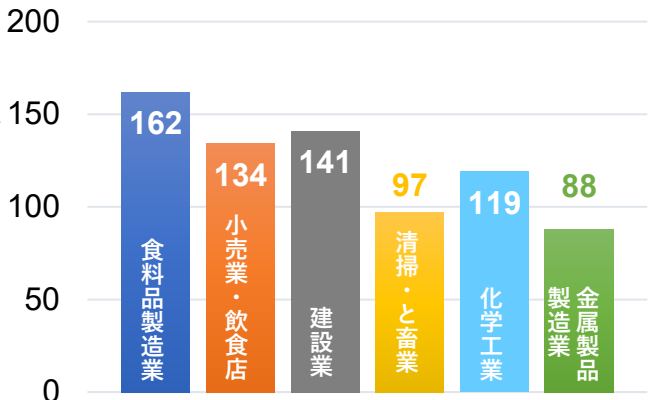
# 健康情報

## 身近な製品にも注意！化学物質の正しい扱い方

### 化学物質は工場だけの話ではありません！

洗剤・漂白剤・殺虫剤・接着剤・塗料など、身近な製品の多くは化学物質を含んでいます。2026年4月には規制対象物質が約2,900物質に拡大され、業種や規模を問わず、それぞれの職場のリスクに応じた「自律的な管理」が求められるようになります。右のグラフのとおり、**労働災害は化学工場よりも、食料品製造業や小売・飲食店など日常的な現場で多く発生しています**。事故の約3割は洗剤・洗浄剤が原因で、特に清掃や補充といった日常的な作業（非定常作業）で起こりやすい傾向があります。「洗剤を混ぜて塩素ガスが発生した」「手袋の隙間から薬品が入り火傷した」「換気不足で気分不良を起こした」など、慣れや確認不足が重大事故につながる例も少なくありません。身近な作業ほど、正しい知識を持ち、適切な対策を講じることが、安全な職場づくりの第一歩です。

業種別化学物質労災発生件数



### 化学工場よりも身近な現場で事故が発生！

出典：厚生労働省「化学物質の性状に関連の強い労働災害の分析結果（令和元年～3年）」より作成

| GHSラベル<br>知っていますか？ |                               | GHSラベルは、化学物質の危険性を世界共通のルールで示し、赤いひし形のシンボルで一目でリスクを伝える仕組みです。引火性・毒性・健康影響などが直感的に分かる、職場の事故防止に欠かせない安全の共通言語です。                           |                                  |
|--------------------|-------------------------------|---|----------------------------------|
|                    | 衝撃・熱で爆発する危険があります。火気厳禁。        |   | 非常に燃えやすい物質です。火気・静電気に注意。          |
|                    | 皮膚・目に触れると重い傷害を起こします。保護具必須。    |   | 他の物を激しく燃やします。他の化学品と離して保管。        |
|                    | 加熱で容器が破裂する恐れがあります。直射日光を避けて保管。 |   | 皮膚・目への刺激やアレルギー反応を起こす恐れがあります。     |
|                    | 少量でも命に関わる毒性があります。吸入・接触に注意。    |   | 長期的な健康障害の恐れがあります。蒸気・粉じんを吸わない対策を。 |
|                    | 水生生物に有害です。下水や環境に流さないよう適切に廃棄。  | <b>「よく分からないから安全」は禁物！</b><br>赤いひし形のマークを見つけたら、「危険」「警告」などの表示を確認し、リスクを把握しましょう。マークがない製品も安全とは限りません。ラベルを確認する習慣を身につけ、誤った判断による事故を防ぎましょう。 |                                  |

| GHSを見つけたら、次はSDSへ！ | SDS（安全データシート）は、GHSラベルに書ききれない“具体的な身の守り方”をまとめた詳しい取り扱い説明書です。 |
|-------------------|---|
|-------------------|---|

『身を守る3点リスト！』  
作業前に

何を付ける？（保護具）  
指定された材質の手袋、ゴーグル、マスクを確認しましょう。

どう扱う？（手順）  
換気の必要性や希釈倍率、混ぜ合わせ厳禁などのルールを確認しましょう。

もしもの時は？（応急措置）  
目に入った、肌に付いた時の正しい洗い方を確認しておきましょう。

迷ったら相談！  
  
職場の「SDS置き場」を今すぐ確認。分からないことは責任者に相談しましょう。